

なないろ通信

No. 7

「岡崎市南部地域交流センターづくりワークショップ」編

・・・育くみ隊活動は公共施設づくりのコーディネートから人と人との縁結びのコーディネートまで、まるで虹のように、いくつもの色がまざりあう多様な活動です。それに関わるスタッフもまた、年齢、職業、特技、性格など様々。この「なないろ通信」ではそんな育くみ隊に関わる人たちがそれぞれの視点で、育くみ隊活動を紹介したり、最近身の周りで起こった「エンガワ」な出来事、普段考えられておかしなことなどを紹介します。

7月3日(土)、「自分たちのまちは自分たちでつくる! 一岡崎市南部地域交流センターづくりワークショップ」が始まりました。平成18年度の開館を目指して全6回のワークショップで約3300㎡の住宅地や公園に面した敷地に建てる、地域のための活動・交流拠点「(仮称)南部地域交流センター」の基本設計を検討していきます。岡崎市までは名古屋から電車で約30分。名古屋生活2年目の私は、この日が初岡崎市でした。岡崎市は家康の生誕の地である岡崎城があり、聞くとところよると大樹寺の門を通して見える岡崎城の景色はかなり感動ものらしいです。次の機会には(もうちょっと涼しくなったら)是非行ってみたいなあと思います。

この日のワークショップ参加者は約50名。市長さんの挨拶で始まり、地域交流センターとは何か・概要や基本機能について、市民参加・これからの進め方についての説明がありました。その後、幻燈会にて参加型公共施設設計の事例「四街道市南部福祉センター(わろうべの里)」を学び、全体でイメージをふくらませ、「こんな交流センターだったらいいな」の想いや基本機能へのアイデアを自由に語りあいました。それぞれから出された想いの中には、学校では学べない事を学べたい...子どもや高齢者の安心居場所...気軽に立ち寄れる、寄り道したい...ゆったり自然を感じたい...周囲の住環境との調和も考えたい...などなど。まずは、想いを語り合い、はじめの一步を踏み出したところで、次回は8月1日(日)敷地探険へと続きます。<藤原貴代/会員>

「共感するココロを育くむ」
—自己と他者の相互応答・
わかりあう関係づくり—



戸枝陽基さん
(NPO ふわり
代表理事)

8月6日(金) 定員 30名
榎木倶楽部にて

- ◇ 開場 18:30
 - ◇ 本題 19:00~21:00
 - ◇ 交流会 21:00~22:00 (実費です)
 - ◇ 入場料 一般 2,300円
会員 1,800円
学生 1,200円
- (全10回での参加の場合、若干お値打ちです)

申込み・お問合せは
まちの縁側育くみ隊まで

榎木倶楽部に看板ができました!

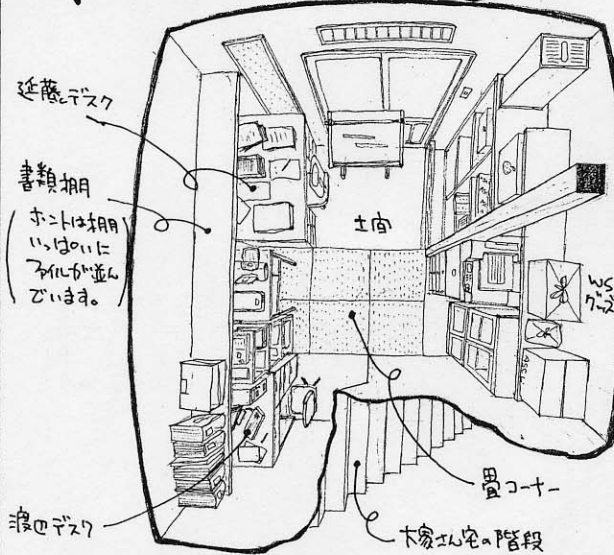


榎木倶楽部(旧榎木館)では各種作品展、パーティー、コンサートからプライベートな催しまで、この場所を活用していただける企画をお待ちしています。また、榎木倶楽部に看板が掛けられました。つくっていただいたのは、井元さんのお友だちの祖父江さんです。

【問合せ】

榎木倶楽部(土曜のみ)
tel&fax 052-936-0821
まちの縁側育くみ隊事務局
tel&fax 052-936-1717

事務局空間整備、完了しました。



事務局を3/12に引っ越し、引っ越し完了しました。よやくMOMOを出てNPO事務局仕事ができるようになりました。引っ越し前、MOMOの土屋さん石川さんには、とても感謝しています。そして何と、これも中島さんには頭を下がる思いです。引っ越しがちゃんとできたのも、ホコリまわりの倉庫だった場所を、掃除して、床をみがき、ものを運び、机まで取り付けて下りました。(感謝、感謝)気持ちよく仕事させてもらえます。ぜひ、向かいがあります。『クレーンがない!!』ホコリ扇機が、ホコリを飛ばしてくれています。この夏は熱中症の多いです。E氏は早々に取北し、MOMOへは、さわさわしました。と、新しく環境が、よく外観も、スタートです。皆様、どうぞ応援下さいませ。

★★★ 寄付ありがとうございました ★★★

NPO 佐倉こどもステーション様
林 理恵様
小林なみ子様
石黒よしえ様
小泉富美子様 (和布小物提供)
吉田よし子様 (和布小物提供)

風の記憶

その人は静かに眠っていた。棺の周りには彼女の夫に三歳になるひとり娘、親族、参列者が列をつくり、白菊を捧げる順番を待っている。私もまたその列に加わり、夢の中を彷徨うかのような足取りで前に進み出て、物言わぬ彼女と最期の対面をした。その人は、高校時代から二十代前半にかけての私にとって羅針盤のような存在でもあり、子どもからおとなへと移ろってゆく過程においてなくてはならない人だった。33歳という若さで実に信じられないぐらいにあっけなく旅立ってしまったその人から学んだことは、現在では私の中に深く根を下ろしている。「ひと」としてなによりも大切なその(やさしさ)を、今度は私が子どもたちに伝えて行こうと思う…。<大久保康雄/理事>

岡崎市南部地域交流センター 基本計画ワークショップ日程

	日にち	開始時間	場所
●第2回	8/ 1 (日)	9:30	市民ホーム
●第3回	8/22 (日)	9:30	未定
●第4回	9/26 (日)	9:30	未定
●第5回	11/7 (日)	9:30	未定
●第6回	12/12 (日)	9:30	未定

※各回とも3時間です。1回のみ参加もOKです!

申込み
お問合せ

岡崎市企画制作部市民協働推進課
TEL 0564-23-6661
FAX 0564-23-6667

取材情報・投稿・編集 スタッフ募集!!

こんないい場所、おもしろいネタあります。行ってきました。など取り上げてほしい情報・話題をどんどんお寄せください。また、一緒に編集やってみようという方もご連絡ください。お待ちしております。

編集後記

先日、長年にわたる海外勤務を終えた友人が暑い日本に帰国しました。最後の赴任地であるベトナムへは私も行き、居候させてもらいながら楽しく過ごした思い出があります。そんな彼が、帰国早々実家に着いて飲んだ水にあたったと電話がありました。衛生状態の悪い所へ旅行した時にも、他の人が食あたりに苦しんでいるのに自分だけは平気で、他の人の看病をしたというのが自慢だったのに。日本の水にも油断しちゃイケせんね。皆様もご用心を。<鈴木智子/会員>

『エンガワNo. 7<8月号>』平成16年8月1日発行



NPO法人

まちの縁側育くみ隊

代表理事 延藤安弘
編集 渡邊・藤原・鈴木

名古屋市東区代官町1-5 まちの縁側MOMO内
Tel/Fax: 052-936-1717
E-mail: info@engawa.ws